

Two Pigeons and Les Rendezvous

ASHTON WORLDWIDE FESTIVAL 参加



アシュトン生誕120周年記念公演

出演者

島添亮子 八幡頭光 大森結城 真野琴絵 望月一真 冨川直樹 吉瀬智弘 上月佑馬 廣田有紀 濱口千歩 中村悠里
 藤下いづみ 田名部正治 村山 亮 宮澤芽実 松山美月 武田麗香 島沙緒梨 武田彩希 須田莉那 三浦 舞 飯田穂香 福島さや香 沖本悠衣 中村杏奈 中澤璃子
 川俣陽子 高橋未貴 中村のか 千頭波奈 中嶋咲妃 林 楓 小佐野美剛 五十嵐耕司 川合十夢 草薙勇樹 小山 憲 廣瀬 陽 情野詠太 高野大希 殖栗萌登

2024年5月現在

第125回小林紀子バレエ・シアター公演

上演演目:『二羽の鳩』『レ・ランデヴー』

2024/7/27 (土) 15:00 7/28 (日) 15:00

会場: 新国立劇場中劇場

〒151-0071 東京都渋谷区本町1丁目1番1号

◆交通のご案内

【電車】: 京王新線(都営新宿線乗入)新宿駅より1駅、『初台駅』中央口直結。(京王線は止まりません)
 【お車】: 劇場地下に駐車場がございます。山手通り 甲州街道交差点。首都高速4号線新宿出口・初台出口、首都高速中央環状線中野長者橋出口・初台南出口すぐ。



お申込・お問合せ

5/28(火)発売

- 小林紀子バレエ・シアター 03-3987-3648
- 小林紀子バレエ・シアターオンラインチケット <https://www.gettiis.jp/event/detail/100873/ashton120>
- チケットぴあ <https://pia.jp> (Pコード:526-785) ■イープラス <https://eplus.jp>

入場料 (全席指定・税込)

S=¥12,000 A=¥10,000 B=¥8,000 C=¥7,000

【注意事項】

●チケットはお一人につき一枚必要です。●未就学児のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。●お子様の膝上での鑑賞はできませんので、お子様もチケットが必要です。●やむを得ない事情により出演者、演目が変更になる場合があります。●予定販売数を超えた場合など、当日券販売を行わない場合もございます。●公演中止の場合を除き、購入されたチケット代金の払い戻しはできません。

【託児サービスのご案内】 ※7/28公演のみ開設

7月19日(金)17:00までに下記へ要電話予約 / 託児対象:0歳3か月~12歳(定員5名) 0120-165-115 (土日祝日を除く、10:00~17:00)
 株式会社明日香 子育てサポート事業部 託児予約担当まで



小林紀子バレエ・シアター
ウェブサイト

パリのアトリエを舞台にしたラブストーリー

Two Pigeons 二羽の鳩 (全2幕)

「一羽の鳩は愚かにも平穏な巣の暮らしに飽き、
遠い国々に放浪の旅をしてみたくなる・・・」



最高にチャーミングなバレエ!

アシュトンの作品を特徴づける
愛嬌あるディテール

◆ 二羽の鳩 (全2幕) Two Pigeons

振付:フレデリック・アシュトン 音楽:アントレ・メサジェ 美術:ジャック・デュボン

少女: 島添亮子
若者: 望月一真
ジプシーの女: 廣田有紀(27日) / 中村悠里(28日)
その恋人: 富川直樹(27日) / 吉瀬智弘(28日)

“とある樹の上に二羽の鳩が巣を作っていた
たがいに優しく愛し合っているけれど
だが一羽の鳩は愚かにも平穏な巣の暮らしに飽き
遠い国々に放浪の旅をしてみたくなる——”

ラ・フォンテーヌ「二羽の鳩」より

アシュトンは、メサジェの音楽を気に入り、ランチベリーの手を借りて編曲を行った。フォンテーヌのお伽話を題材にしているものの、1886年初演のオペラ座オリジナルの脚本は用いず、自らのイマジネーションによってより自然な男女のラブストーリーを描いている。

◆ レ・ランデヴー Les Rendezvous

振付:フレデリック・アシュトン 音楽:ダニエル・オーベール 編曲:エンスカントランパート 美術:ウィリアム・チャペル

プリンシパル: 真野琴絵
八幡顕光
パ・ド・トロワ: 濱口千歩(27日) / 武田彩希(28日)
吉瀬智弘 川合十夢

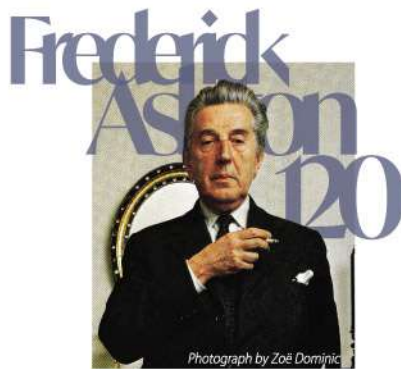
ケンジントンガーデンを彷彿とさせる舞台装置の中で白を基調としたロマンティックな衣装を身に着けたダンサーたちは社交界にデビューする男女のよう。出会いがあり、優美なパ・ド・ドウがあり、流麗なプリンシパルのソロがあり、ガーデンパーティーでの楽しく心弾む活気に満ちた雰囲気劇場を包み込む。

オーベールのオペラをランパートが編曲した楽曲は、シャンパンの泡のように軽やか。精巧にまた大胆に頭、手首、肩の角度から細かいワークにいたるまでアシュトンの作品を特徴づける愛嬌あるディテールがふんだんに盛り込まれている、アシュトン初期の代表作。

◆ 主な出演



島添亮子 八幡顕光 大森結城 真野琴絵 望月一真 富川直樹 吉瀬智弘 上月佑馬 廣田有紀 濱口千歩 中村悠里



Sir. Frederick Ashton (1904-1988) フレデリック・アシュトン



エカドルで生まれペルーで育った。子供の頃、ペルーで観たアンナ・パブロワのダンスが彼の将来を決定づけたと言われている。彼の最初のバレエ教師であるレオニード・マシーンの推薦により、マリー・ランベールのもとで学び、そこで振付を始める。1931年、ニネット・ド・ヴァロワの新しいカンパニー（ヴィック・ウェルズ・バレエ）のために振付を行い、1933年以降、このカンパニーが英国ロイヤル・バレエへと成長する間、常にド・ヴァロワの協力者としての立場を全し、数々の作品を振り付け、アリス・マルコヴァ、ロバート・ヘルプマン、マーゴ・フォンテイン、マイケル・ソームズ、スヴェトラナ・ベリオソヴァらの才能をいかに引き出した。1961年より、ド・ヴァロワの後を継いで、ロイヤル・バレエの芸術監督に就任。就任後も彼の創作意欲は衰えることはなく、ルドルフ・ヌレエフ、ナディア・ネリナ、アントワネット・シビリー、アンソニー・ダウエル、メール・パーク、デヴィッド・ウォールら、多くの素晴らしいアーティストを抱え、まさに英国ロイヤル・バレエは黄金時代を迎えた。アシュトンの作品の中で見られるすっきりとした動き、コミカルな動き、ロマンティックで豊かな表現等はまさに英国バレエのスタイルとして確立されたものがある。

指揮: 末廣誠 演奏: 東京ニューフィルハーモニック管弦楽団

芸術監督: 小林紀子 振付指導: アンソニー・ダウソン バレエミストレス: 児玉玲子 ミュージックスタッフ: 青木萌絵 制作: 小林功 制作助手: 小林健太

舞台監督: 森岡肇 大道具: 東宝舞台株式会社 かつら: 奥松かつら 照明: 五十嵐正夫 音響: 佐藤利彦 衣装チーフ: 横山美樹 鳩提供: 湘南動物プロダクション

主催: 有限会社小林バレエ事務所 後援: 一般社団法人日本バレエ団連盟 ©公演に関するお問合せ: 小林紀子バレエ・シアター 03-3987-3648

公演最新情報はこちら ▶小林紀子バレエ・シアターウェブサイト <https://www.nkbt-tokyo.com> ▶Instagram NKBT.OFFICIAL

Instagram NKBT.OFFICIAL

